伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。

岩下尚史

vol.47　すめん、ひためん、ぺるそーな。

隠居の暇つぶしは散歩に限ると、夕陽すこし残る頃に東京牛込の宅を出で、ぶらぶら低徊しているうちに、その行く先は決まって、小石川から神田方面になるようです。

大ていは本郷湯島を過ぎて聖橋を渡りつゝ、そのかみ茗渓と謳われた神田川の現在を瞰望し、ＪＲ御茶ノ水駅へ到るときの晴れやかな風致は東都随一、町の名も葵のむかしを偲ぶかして、千代田区神田駿河台と貫目があります。

その由来を繙けば、家康亡きあと駿府城の家臣が屋舗を与えられて移住したとやら、駿河大納言の屋敷の跡であるとか、此所より富士峯を望むに掌上に視るが如き風光であったためと異説多端ですが、何れにせよ、駿府衆と呼ばれた家臣団の住む武家地でありました。

現在も表どおりから横町へ入れば森閑として、徳川時代に本江戸と称された駿河出身のものゝふの気配が、年を経たビルヂングの緑蔭ふかく揺曳するように思われます。

皇政維新から間もなく、この駿河台から長い坂を降りた神田小川町裏神保小路に、静岡から召し出された渋沢栄一が居を卜したそうですが、やはり、富嶽の麗姿に惹かれたのでありましょうか。

能の主人公の多くは面を掛けていますが、過去未来ではなく現在を生きる男の主人公の場合には面を掛けない約束があり、これを直面と呼ぶそうです。

「ひた」と云う名詞には、直接、純粋などの意味がありますが、何かの動作に徹すると云う状態を指すこともあり、能のひためんを考える時、魅力的な暗示を与えます。

と云うのも、シテもワキも舞台にあらわれる以上、素顔のまゝでは能楽の様式を破りますから、自身の顔をひとつの面として成立させる必要があるからです。

面を掛けない顔が面であるからには、ものを見る時に上目や横目を遣ったり、ものを言う時や謡う時に唇を尖らしたり、口の端を曲げたりしては品が悪いと云うよりは生臭く、かえって不自然に見えて不可ん。

能の良さは、眼にも耳にも障るものがない中で、厳しい、激しい、悲しい、さびしい魂のやりとりに接することにより、見所の魂も鎮められるものだと思って居ます。

それならば、ひためんの能は生まれつき端正な容貌を持つ人に限るかと云えば、未だ眼元唇許が定まらない場合、こちらの眼先までちらくらして眉目秀麗であることが鼻に付く芸のむつかしさはひためんの能に限らず、たとえ一ト刷毛でも粉黛を施して面とする、かぶき芝居をはじめとする演劇も同じ事だと思います。

しかし、面と書いて、めん、おもて、と訓むのですから、そこに境は無く、舞台に上がらぬ私たちも、日常たえまなく、対手次第で自身の面を取り替えながら暮らしています。

それどころか、心の内で自身と対話する時でさえ、はたして素面があるのか無いのか、考えてみると紛らわしいようです。

好い機会ですから、ひさしぶりに和辻哲郎の『面とペルソナ』を読み返し、静岡にゆかりある、ひためんの新作能を拝見したいと思います。

TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。
作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。

岩下尚史（いわしたひさふみ）…作家。國學院大學客員教授。新橋演舞場（株）退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞を受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を基に書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、新刊発表に向け、鋭意執筆中。

心弾むクラシックで、新年の幕開けを

指揮:太田弦 ©ai ueda

ピアノ:ニュウニュウ ©Yuji Ueno

管弦楽:富士山静岡交響楽団

静岡ガスグループPresents グランシップ&静響ニューイヤーコンサートvol.25

25回の節目を彩る太田弦×ニュウニュウ、若き才能と静響の共演

「地域の皆様と音楽を通して喜びを分かち合い、素晴らしい一年を共に歩んでいきたい」という静岡ガスグループの思いに富士山静岡交響楽団(静響)と静岡県文化財団が応え、開催25回の節目を迎えるニューイヤーコンサート。

指揮は、若手実力派の太田弦さん。2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で2位ならびに聴衆賞を受賞し、2025年には第23回齋藤秀雄メモリアル基金賞を歴代最年少で受賞。2023年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者、2024年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任。静響とも縁の深い尾高忠明氏と、静響首席指揮者の高関健氏に師事。静響との共演は今回で4回目。息のあったパフォーマンスに期待が高まります。

ソリストには29歳にして20年以上のキャリアを持つピアニストのニュウニュウさんを迎えます。史上最年少の8歳で上海音楽院に入学し、ニューイングランド音楽院等を経て、2018年、名門ジュリアード音楽院を卒業。昨年の大阪・関西万博では、オープニングプログラムのクリエイティヴなステージに参加したことも話題となりました。今回は、聞きなじみのある方も多いチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番を演奏します。あまりに有名な冒頭のフレーズから、引き込まれること間違いなし。2人の若き才能と静響の共演をお楽しみください。

25回の節目を迎えるということで、ご来場の方には素敵なプレゼント抽選企画も。さらに夜の部では、小中学生のお子様と大人のペアチケットを特別価格2000円で販売します。「オーケストラを聴くのは初めて」というファミリーも、毎年楽しみにしてくださっている方も、本公演の一体感と躍動を、ぜひ会場で体感してください。

2027年 1/8(金) ■昼の部／14:00開演　夜の部／18:30開演　■中ホール・大地　■2,000円 ※事前申込制、座席は抽選による配席。当選通知後、記載の期日までにお支払いください。

※夜の部対象〈こども1名+おとな1名〉ペアチケット(2,000円／先着順・50組限定)は、グランシップホームページWEBフォームでお申し込みください。

〈出演〉指揮:太田弦　ピアノ:ニュウニュウ　管弦楽:富士山静岡交響楽団

〈曲目〉♪チャイコフスキー:歌劇『エフゲニー・オネーギン』より「ポロネーズ」　♪チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番変ロ短調 op.23
♪ヨハン・シュトラウス2世&ヨーゼフ・シュトラウス:ピッツィカート・ポルカ　♪ヨハン・シュトラウス2世:ペルシャ行進曲 op.289　他 ※曲目は変更になる場合がございます。

申込方法 ■申込締切　2026年10月31日(土)必着 応募者多数の場合は抽選

〈WEBからの申込〉 グランシップホームページの専用申込フォームに必要事項を入力してください。

●チケット受取方法は以下3つの方法からお選びください。

A.グランシップチケットセンター(10:00～18:00/休館日を除く)
B.ファミリーマート
C.郵便振替後に郵送(手数料、送料が別途かかります)

最新情報・WEB申込はこちらから

〈官製はがきによる申込〉 右記参照

85円
〒422-8019
静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
グランシップ「ニューイヤーコンサート」係

①郵便番号
②住所
③氏名
④年齢
⑤電話番号
⑥希望公演(昼・夜いずれか)
⑦申込人数(4名まで、小学生以上)
⑧チケットの受け取り方法
A～Cから1つ選択

※重複応募、記入もれ、切手代不足等不備は無効です。※応募者多数の場合は抽選。結果は、11月下旬に、はがきまたはメールにてご連絡します。
※期日までに、手続きが完了されないチケットが発生した場合など、一般発売を行います。
一般販売の告知は、12月上旬にグランシップホームページに掲載予定です。